

単元名

Research and Presentation (東京書籍)

本時1 / 3時間

本時のねらい

育成を目指すプログラミング的思考

クラスで人気のあるものについて調査し、その結果から、特徴や傾向を、聞き手に伝わるようにまとめることができる。
(思・判・表)

抽象化



目的に応じて、物事の特徴や要点を、適切に抜き出す。 Stage3

本時のねらいとプログラミング的思考との関連性

本時の学習では、プログラミング的思考の中の抽象化の思考を取り入れ、聞き手に効果的に伝わる発表するために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果から、特徴や傾向を抜き出す学習活動を行う。抽象化の思考と合わせて、比較級や最上級などの順列を示す既習表現を活用することで、本時のねらいを効果的に達成できる。

学習ツール

Viscuit

Scratch

スライド

スプレッドシート

無

プログラミング的思考に関する活動の流れ
(展開を想定)

●教師の発問・指示

◇指導上の留意点

※学習ツールを使用する際の留意点

導入

- 1 グループで、何を調査するのか、テーマを決める。
- 2 インタビューで何を聞くか、質問項目を英語で作成する。
- 3 グループでインタビューの練習をする。

◇本時は、発表の内容や、発表原稿、発表スライドについて、グループで考えたりする時間である。次回以降は、発表原稿と発表スライドの作成を継続し、最後の時間に発表活動を行うことを伝える。

◇ [授業スライド p. 1 ~ p. 5]

●「どのような質問をすれば、必要な情報が得られるでしょうか。」

●「インタビューの前は、“Can I ask you questions?”
インタビューの後は、“Thank you for answering my questions.”のように付け加えましょう。」

展開

- 4 グループでインタビュー調査を実施する。教室の中を歩いて、4人で手分けしてインタビューを実施する。同じ人に同じ質問をしないように、出席番号などで割り振りを決める。
- 5 調査結果をまとめ、グループで分析する。

◇すぐに質問をするのではなく、互いにやりとりを行うように促す。

●「インタビュー結果から読み取れる特徴や傾向を、グループで分析し、感想や考察について話し合ひましょう。」

- 6 発表スライドを、グループで作成する。

●「比較級や最上級を用いて、数値を比較する表現を入れましょう。」

◇ [授業スライド p. 4]

比較級と最上級を使った表現例を提示する。

●「先ほど話し合った感想や考察を、発表の中に加えましょう。」

終末

③発表原稿の構成を考えましょう。

トピック
(例) Sports

情報や数値を比較する表現 () 内の単語は例

割合 ・ 75 percent of our class

最上級 ・ the best

・ the most popular (sport)

・ the second popular (sport)

比較級 ・ more (popular) + than ~

・ (high)er + than ~

↓
調査の結果

↓
感想・考察